令和５年度　事 業 報 告 書

PL学園中学校

1. 法人の概要

学校法人ピーエル学園

PL学園幼稚園、PL学園小学校、PL学園中学校、PL学園高等学校、PL学園衛生看護専門学校を併設する。PL学園中学校は募集定員2学級 70 名、3学年 210 名（学則定員は各 80 名・240 名）とする。

生徒数の現況（2023.05.01 時点）

1年生15名、2年生8名、3年生9名　合計32名

教員数の現況

専任教員8名：校長（高校と兼務）1名、教頭（高校と兼務）1名、数学1名、理科1名、英語1名、社会1名、保健体育1名、家庭科1名

非常勤講師7名：国語1名、美術1名、音楽1名、技術1名、理科 2 名、数学1名

2. 事業の概要

教育基本法及び学校教育法並びに同施行規則にしたがい、小学校における教育の基礎の上に心身の発達に応じて中等普通教育を施し、併せて設立母体であるPLの教義に基づいて、学習をはじめ人間性向上のための教育活動を行う。

（教育における具体的実施事項）

実技的な教科については、学習成果を写生会・合唱コンクール、百人一首大会など、学校行事を組み、クラス対抗形式で意欲的に取り組んだ。

部活動にも全教員および、教団からのボランティア指導者を配置し、技術のみならず人間づくりに成果をあげている。

習熟度の差の激しい英語と数学で、特に生徒数の多い、中学3年生は週4時間の教科授業の内2時間を Team Teaching 形式の授業を実施した。それぞれの教科の苦手な生徒の質問や疑問に答える方法で学習サポートをし、学力の底上げを行ってきた。また朝礼時に英単語テスト、計算練習テストも行い、英数の基礎学力の向上を図ると共に、英語検定と漢字検定の受検を奨励している。それらにより学習意欲と学力向上が共に高まっていると感じる。

また、寮、保護者、教会長と連携し、保護者と生徒の取り組みと通して、信仰心・学力・人間力の向上をはかり、社会に貢献しうる人間作りを目標とする PL 教育の実践に努めている。

3. 財務の概要

高校実質無償化の府政方針により、逆に私立中学校の授業料が負担感を増した感もある。宗教を母体とした学校であることから、生徒募集の条件が限定されており、定員を大きく下回る現状が続いている。

校舎建設資金を教団から借り入れ、現在分割返済中であることに加え、生徒数の減少による学納金の収入の著しい減少もあるため、限られた予算を最大限に有効活用し、学習環境の整備を始め、設備の維持にも努めている。不足分は指定寄付、後援会や卒業生による外部組織（聖友会）等の援助金で賄っている。

少人数の私立小・中学校経営が大阪府で成り立たせるのは容易ではないが、今後とも最大限の経営努力を惜しまないものである。